

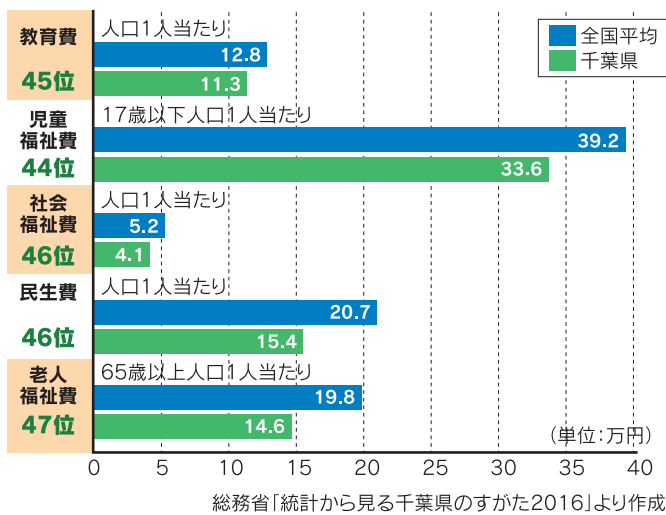
# 入江あき子の

## 県議会報告



- 千葉県の教育費は全国ワースト3位  
●3・11は終わっていない
- 活動報告  
●27年度一般会計決算  
決算審査特別委員会で税金の使い方を厳しくチェック!

千葉県の順位(47都道府県中)



そもそも千葉県では、正規・非正規を含めて教員全体の数が足りません。学校現場では教員の欠員をカバーできず、校長先生が人探しに走り回っていると言われます。その数は、昨年11月1日時点で100人。森田知事は「教育立県千葉」を掲げていますが、「誇大広告」ではないでしょうか。教育にはしっかりと予算をつけるべきです。

### 先生が足りない!

県内の公立小・中学校、特別支援学校、県立中・高を合わせると、1357校。毎年、国はこれら学校現場に配置する職員(法定定数)を示し、正規教員の配置を前提に、千葉県に予算を入れていきます。ところが、県は昨年度、本来ならば正規教員とすべきところ、非正規の臨時講師1491人を配置。その数は、年々増えています。人件費を削減するため、安い給与で雇える教員に置き換えていると言

### 増える非正規教員

わざるを得ません。本来、臨時講師は、産育休や病休等による欠員をカバーすることが目的で、原則1年以内の契約となっております。ところが、小・中学校の現場では臨時講師の半数以上が実際に4月からクラス担任を持ち、正規と変わらない働きをしているのです。これまで「臨時講師をなくし、正規採用に変えるべきだ」と指摘し続けてきましたが、一向に変わりません。

千葉県は全国4位の財政力を誇っています。ところが、教育や福祉のために使われる税金は最下位がずらり。(左のグラフ参照)今回は、千葉県の教育の現状と課題について、お伝えします。

## 千葉県の教育費は全国ワースト3位

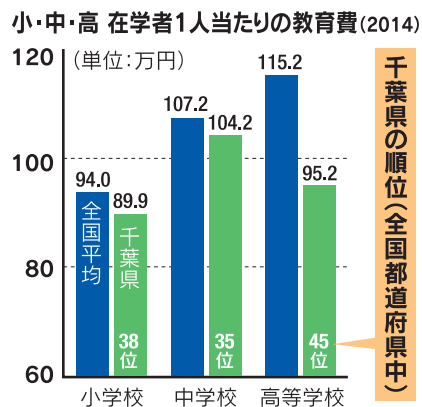


県立佐倉高校 教室の天井

県が管理する学校施設は、県立中・高と特別支援学校を合わせ、160校。多くの学校施設が建設から40年以上経過し、老朽化が進んでいます。毎年、各学校から校舎・グラウンド・設備等の補修・改修の要望が2千件以上出されていますが、予算措置されるのはわずか2割程度。ここ数年間の予算枠は6〜7億円程度で頭打ちでしたが、今年度は8億5千万円に引き上げられました。

佐倉市内にある県立高校4校の雨漏りについては以前にも議会で取り上げましたが、未だに改善されていません。倒壊の危険がある佐倉高校の図書館棟については、ようやく来年度に解体工事が行われる予定ですが、新設の計画はありません。早急に取り組んでほしいものです。

### 老朽化が進む県立学校



### 保護者負担の軽減を!

県内にある私立高校の学費(授業料・施設設備費)は、今年度平均約54万5千円。左図のような軽減策で保護者負担は減りつつあります。

支援策	対象世帯(年収)
就学支援金(国)	910万円未満
奨学給付金(国)	250万円未満
授業料減免(県)	350万円まで全額免除 640万円まで2/3免除

しかし、350万円未満の世帯でも施設整備費として年間約24万円を負担しなければなりません。埼玉県ではすでに施設整備費への補助を実施。東京都では、年収760万円未満への学費無償化に踏み出すとのこと。千葉県に同様の取り組みを求めてきましたが、進展はありません。

また、県の奨学資金貸付制度(月額1〜3万円)の改善も必要です。今年度は11月時点で1758人に総額約4億円を貸し付けていますが、その7割強が私学の生徒。延滞利息は14.5%で非常に高く、昨年度の滞納者は612人と増加しています。延滞利息の引き下げや返さなくても給付型奨学金を創設すべきです。

今年度、千葉県では私立学校法人に161億円を経常費補助として支出し、これが保護者負担の軽減につながると説明しています。しかし、実際は保護者の負担軽減にはつながらず、今春の県内私学の初年度納付金は平均約9千円の値上げとなります。

県内の3割強の生徒が私学に通っています。依然として保護者負担の公立と私立の格差は大きく、「学費無償化」の流れに立ち遅れています。どの子もお金の心配なく学べる教育環境を千葉から創り出していかねばなりません。

### 3・11は終わっていない



福島県の放射能汚染土。ここに戻るのか?

東日本大震災福島第一原発事故から6年が経過しようとしています。この間、千葉県でも放射能の除染作業、農林水産物の放射能測定や指定廃棄物の一時保管等々、さまざまな事業が実施されてきました。

県は、原発事故に伴う損害賠償金約4億3千万円を東京電力に請求しましたが、27年度未だに受け取った額は、わずか1億6千万円。特に、人件費1億3千万円の請求に対しては、1898万円しか受領できていません。

この事故による日常業務外の仕事をこなすため、3万2千時間もの超過勤務が報告されています。にもかかわらず、臨時職員14名分しか認められないのは到底納得できません。

一方、千葉県には原発事故で避難した約3千人が生活しています。そのうち避難区域外からの自主避難とされている952世帯に対する住宅支援が今年3月末で打ち切られてしまいます。そのほとんどは民間賃貸住宅に入居し、子どもへの被ばくを避けるため故郷を後にした母子家庭も多くあります。

この間、私は4月からの行き場に困らないよう当事者や支援団体と県交渉を重ねてきましたが、まだ具体的な支援策は示されていません。避難者に福島への帰還を強要するのではなく、他県ですで行われている「県営住宅の優先入居」や「民間賃貸への継続入居」などを実現するよう粘り強く求めていきます。



活動報告

防災



佐倉市民防災訓練 10/23

環境



坂田残土埋め立て反対抗議行動 9/30

水問題



印旛沼流域下水道花見川終末処理場 10/21

政策



市民ネット主催 政策講演会 10/22

報



福島県楢葉町復興現場 10/20

平和



戦争させない・9条壊すな! 国会前抗議行動 9/19



市原グリーン電力バイオマス発電視察 12/27



県への予算要望書提出 10/24

27年度一般会計決算

歳入1兆6810億円

歳出1兆6724億円

決算審査特別委員会で税金の使い方を厳しくチェック!

27年度千葉県の予算は、一般会計・特別会計等を合わせて総額約3兆円。決算審査特別委員会(10/31~11/22の8日間)で19部局の事業を審査しました。

急いで! 橋の安全確保

入江 耐震橋りょう緊急架け換え事業の27年度決算額と進捗状況はどうか? 道路整備課 約9億円をかけて19橋を完了させた。計画にある24橋のうち、残る5橋についてもすでに着手している。船戸大橋は、32~33年度に完成する見込み。

入江 橋りょう長寿命化事業の27年度決算額と進捗はどうか? 道路環境課 約25億円かけて458橋のうち114橋が完了。

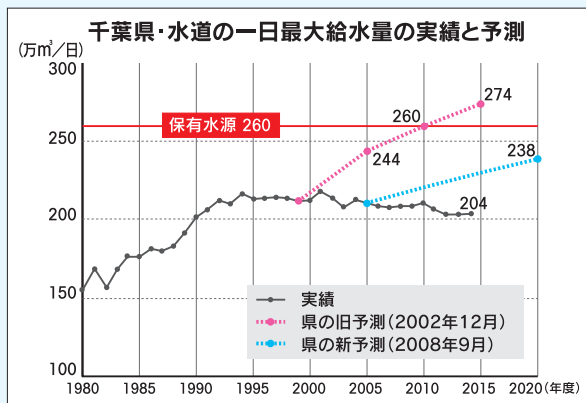
入江 圏央道・外環道・北千葉道路には27年度に約138億円を投入する一方、身近な橋や道路には十分な予算がつけられていない。不要不急の高規格道路を優先するのではなく、県民の安全・安心につながる事業こそ急ぎ進めるべきだ。

ムダなダムから撤退を!

入江 27年度県上水道の給水人口は約299万3千人、一日最大給水量は約101万m<sup>3</sup>だが、水需要予測に照らしてどうか? 水道局 予測より給水人口は1万1500人多く、逆に一日最大給水量は約10万2300m<sup>3</sup>少ない。

入江 実際の使用量は減っているのに、まだハツ場ダムに参画している。同ダムによる新規開発水量は何人分に相当するの? 水道局 約12万4000m<sup>3</sup>で41万人分に相当する。

入江 ハツ場ダム完成予定(32年度)の給水人口は、27年度からわずか2万人程度しか増えない予測にもかかわらず、41万人分の水量確保は明らかに必要がない。現時点で十分な保有水源がある。入江 ハツ場ダム等新規水源開発に対する県内利水者(佐倉市・酒々



(出典:日本水道協会「水道統計」+千葉県の資料)上下水道+簡易水道を示す。\*ハツ場ダムは旧予測に基づいて進められている。

井町を含む)のこれまでの負担総額と今後の見込みはどうか? 水政課 負担総額は約400億円で、今後は151億円の見込み。

入江 これに起債利息等を加えると、試算では1000億円を超える。一方、県内の水道事業体には、水利権を取得したにもかかわらず使っていない「未利用水」がある。これに対しても、27年度までに総額522億円以上の税金を投入している。ダムありきの過大な水需要予測を改め、無駄なダムから撤退すべきだ。

地域医療に目を向けて!

入江 県立病院の修繕費4億4600万円の内容は? 各病院からの要望にどの程度対応できたのか? 病院局 主に建物・設備費の修繕

に2億2700万円、医療機器の修繕に2億1500万円。

入江 この予算では少なすぎる。佐原病院の耐震化や循環器病センターの狭あい化への対応など早急に予算措置すべきだ。佐原病院の訪問看護では公用車ではなく職員の自家用車を使ってい

るが、改めるべきではないか。病院局 本来は公用車が望ましい。入江 県立病院の役割を「高度専門医療」に特化せず、地域医療の拠点である佐原病院や循環器病センターへの予算拡充を要望する。

Akiko's PROFILE

入江あき子 プロフィール

- 1965年 仙台市生まれ
- 1988年 国際基督教大学(ICU) 教養学部社会科学科卒業
- 2003~2011年 佐倉市議会議員
- 現在 千葉県議会議員2期目 会派:市民ネット・社民・無所属
  - 文教常任委員会委員
  - 千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
  - 千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
  - 原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟所属
  - 自治体議員立憲ネットワーク所属
  - ハツ場ダムを考える1都5県議会議員の会事務局長
  - 利根川流域市民委員会幹事